



先週の金曜日に4クラス授業がありました。1学期最後の授業となるクラスが2クラス。『数学だより』は前回のNo.10が1学期最後のものになっていたはずでした。このNo.11が1学期のうちには作られるようになるとは私自身考えてはいませんでした。

金曜日。皆さんが書いてくれた1学期の感想を読んで、心と体が温くなりました。一人一人が気持ちをこめて書いてくれているのを読んで、本当に心が癒されました。

そして、どうしても、お返事を書きたくなったのです。でも、実際には一度崩れた体調は3日間ではよくなりません。ここでは何人かだけしかできませんが、気持ちとしては皆さん全員と対話させていただく…そんな気持ちでこれを書きます。

1学期の間、卓哉先生と授業をして、本当に楽しいことばかりで、1時間目の時が多かって、朝しんどいと思っとったときでも、先生の授業をして今日も頑張ろ！！ってゆう気持ちになれました。先生は、たまにしんどそうな顔しとるとき休み時間とか見たけど、授業に来てくれる時は、しんどそうな顔ひとつもしないで、笑っている先生の授業が好きでした。先生も大変なのに頑張りよるきん、自分も頑張らなくていつも思えました。数学の授業もいつも丁寧に教えてくださって本間に嬉しいです。最後の先生の書いた数学だよりを今、少し読んで、泣きそうになりました。先生はめっちゃ頑張りよるきん、自分も今からも頑張っていくます。

先生の授業のクラスになれてほんとうに嬉しかったです。次の授業も先生のクラスがイイです。自分もくるしい時には、先生のことを思い出して、何事もあきらめず、頑張っていくたいです。

先生に会えて、本当によかったし、嬉しいです。この紙には、伝えたいことを書ききれません。だから、このぐらいにしときます。

先生～ 卒業する時は一緒におってくださいよ。

これを読んでいて私は何度も涙を流しましたよ。そして、不思議でした。その奥にある気持ちを、深い感謝とともに、あなた、そして3ヶ月間一緒に授業を歩んできた皆さんに伝えたいと思ったのです。

私の病気は、日本全国で1年間に3万人(交通事故の3倍!)が亡くなっているものです。その原因として、病気そのものの苦しきさというものもあります。しかし、《回復期》や《リハビリ期》には、むしろ社会の中の不理解や偏見による差別の苦しきさが、一気に襲ってくるのです。つまり、心身の苦しきさに加えて、差別と闘うしんどさを背負わなければならないのです。私も、これまで何度つぶされそうになったことか分かりません。

そして、その苦しきさは、本当に人に理解してもらうことは難しいのです。

先週は、私にその大波が一気に押し寄せてきた週でもありました。妻とともに、共倒れになってしまうかもしれないギリギリのところがありました。

そんな中で、またまた、ありえないような出会いをいただいたのです。その一つは、苦しい私の傍らにいてともに私の苦しみを支えてくださっていた先生との新たな出会いです。そして、もう一つが、皆さんが書いてくれた感想でした。

とくに、あなたは私の「最後の」『数学だより』を少し読んで「泣きそうになりました」と言ってくれたね。「自分もくるしい時には、先生のことを思い出して、何事もあきらめず、頑張っていくきたい」と言ってくれたね。

人の苦しみを我がことのように感じられる人が実際にいる。それがすでに奇跡的です。そのような人がいるということが不思議な気さえたのです。

ありがとう。心の底から、この気持ちを伝えたかったんです。

練習プリントが難しくてできなかったとき、先生が解き方を教えてくれたのでできるようになりました。(でも完全にできるとはいえないんだけど…)

- ・最初は練習プリントの問題が難しくて、ところどころしかできていませんでした。先生がプリント点検をしているときにこのことを先生に言ったら、先生は「できるところだけやっていたらそれでいいよ」って言ってくれたけど、家に帰ってからも少しだけプリントをしていました。
- ・最初はなかなか授業にとけこむことはできませんでした。でもやっているうちに少しずつとけこむことができてよかったです。

あなたが書いてくれた文章の中で私が最も嬉しかったのは、「(授業に) とけこむことができて」という表現です。ああ。そうなんです。数学って「わかる・わからない」、「できる・できない」がはっきりしているよね。あなたは、「練習プリントが難しくてできなかったとき」って書いているね。そのとき、ある種の《苦しさ》と格闘しなければならなんだよね。しかし、あなたはあきらめず少しずつ少しずつ《自分で》努力を続けていたね。その努力が、「(授業に) 少しずつとけこむことができてよかった」という実りにつながったんだね。そこが、すごいことだと思うんです。

私は、初めノートにかくときにおいつかなかったのがおいつくようになってよかったなあと思いました。

かけ算とわり算はにがてで、大きい数になるとわかりにくくなりました。因数分解は、はじめわからなかったけど、だんだんわかってきて、よかったなあと思いました。ほんとうに楽しかったです。

あなたの続けている努力にも、これまで私はどんなに励まされたことか分かりません。あ

なたはいつも具体的に「自分は今どこが分からない・できない」というのをしっかりとピンポイントしていたよね。ここに書いてあることも、とても具体的にしっかりと自分を見つめています。あなたはさりげなく「ノートにかくときにおいつかなかったのがおいつくようになってよかった」と書いているけれど、これってすごいことだなあと思います。だって、私の授業のすごく本質的なところだから。また、かけ算とわり算についても「大きい数になるとわかりにくくなりました」と書いているね。私は、もうあなたはいつでも「わかる」ようになる、その機が熟していると思います。

今の数学は先生がいつも明るくて元気でそれで授業も結構楽しくできた。けどあまりあのテンションにはついていけない…。笑

プリントも復習とかで使えたし、良かった。中間はあまり点数が良くなって、そして期末にプリントやったら□□点になったから嬉しかった。だんだんむつかしくなってるからしっかり授業を聞いて楽しく出来たら良いなあと思っています。これからもがんばって行きたい。

そうだったね。あなたには、中間テストからあとの2週間が大きな試練だったね。私は、ずっと祈るような気持ちで、あなたを見てましたよ。しかし、その苦しい2週間をよく乗り越えたね。あなたは、気持ちの揺れが大きくて、それを人から誤解されることもあり、損をするタイプかな。だからスランプに入ると、苦しみも大きい。でも、その産みの苦しみがあるからこそ、それを乗り越えてスッキリしたときには、大きな飛躍につながるんです。さらに、その苦しいときに、じつはあなた自身意識していないであろうあなたの個性が大きく輝いていたよ。

すごく楽しくとり組めた。数学はすごくにがてなのでよくわからないこと、だらけです。でも、その、少しずつそのわからないが、分ってきたとかんじました。

最初新しい先生ということでクラスとなった。先生は自己紹介の時「私は病気です」と言っていてどんな授業になるか心配だった。でも初めて先生の授業の時引くぐらい先生はテンションが高かった。僕は結構テンションが高いが僕以上の元気だった。どんな授業になるかと思えば宇宙戦艦ヤマトや飛行機や人の脳など関係ないことをムリやり関係ありにさせた。数学は好きでも嫌でもないが、計算が少しだけできたので先生の授業に例

えるなら先生ウェーブにのることができた。僕たち生徒はサーファー。先生は波というように、波に身をゆだねていつかは先生をこえる。今の僕たちは波のことしかできないが、時にはわからなくなって波にのみこまれることも。だけどその時は周りの仲間、同じサーファーが海から僕をひきあげてくれる。そしてまた先生が波を出して次はのれる。というように同じことをくり返していいかんじに今ものっている。そして隣の子や周りの人ときょうそう。一番早くだれがかいけるか…波にのることが出来るかをきょうそうしたりなどいろんなことをやってみた。先生はその個性を大事にこれからもつづけるといいと思います。1学期間ありがとうございました。これからもがんばってください。それじゃBy e B y e